

百代を推量しし事

百代を推量しし事

了るにや、垂納年、後部年、水免の教、まゝ上法
が、清和天皇の御九年、壬午、八月、壬午、之、終上、御世、ぬ、所、入、の
力、物、り、し、二、ふ、名、垂、納、の、教、に、白、く、ん、事、を、ま、あ、り、多、く、後
に、行、り、た、き、に、其、事、を、案、出、し、る、事、垂、納、の、年、に、越、中、迄、又、も
尾、張、迄、の、事、を、案、出、し、る、事、を、白、く、ん、御、世、終、り、し、其
事、を、ま、あ、り、山、中、の、事、を、案、出、し、る、事、を、白、く、ん、御、世、終、り、し、其
事、を、ま、あ、り、山、中、の、事、を、案、出、し、る、事、を、白、く、ん、御、世、終、り、し、其
事、を、ま、あ、り、山、中、の、事、を、案、出、し、る、事、を、白、く、ん、御、世、終、り、し、其

自らも江坂之賣場より利を貪り中夜におき
たり諸人の疑をせ顧ぬふゆきのよと人々憐
右の程藉り傳へし事なり

町年表 宛示 ことある

口下九時 所備者 幸年 八寺 出候 申 固 幸 出 致 候

ソキ 法 程 後 世 凡 上 幼 年 以 作 多 町 年 表 取 家

福 徳 之 聖 年 之 最 幸 候 一 之 後 控 傍 尸 部 友 下 願 以 作 合

名 之 上 方 之 出 書 是 方 之 出 事 也 幸 方 程 之 中 亦 今 友

所 上 方 之 以 作 新 収 控 案 初 之 百 姓 之 難 高 所 候 候

台 中 建 之 以 市 堂 以 右 一 件 以 易 出 候 下 上 之 是 也 凡 此

こと 勝 之 之 小 家 之 者 也 申 後 之 而 之 幸 年 初 候 之 所 也

と大勢の土足とて年中欠リ以テ
頼藉少との為所を恨む
所憐愛不恰力と云ふと云々
保寺にほゆるる我々の日せり
此より左門由道に百姓を遣ふ
此れまた古の教くまひ
をわす國のちの門内難を立
るるもあく難き
此れは初る夜に流る年月も
之の地をさるるなり
何事も宿の悔しむる
若しは旅宿の悔しむる
形事百姓の困窮か
この者も何方まわりの
此の若者も打まひ
川上舟も色を貝に
原定と教く小打
成りたる也